

# 平成23年3月期決算 業績回復に全力

## ITHD第3期決算―増収ながら減益

ITHホールディングスは、5月11日に平成23年3月期(第3期)の連結決算を発表しました。売上高は323.1億円(対前年3%増)、営業利益は12.8億円(同19.9%減)、当期純利益は59億円(同21.9%減)となりました。平成21年12月に子会社化したソランの業績が通年で反映されたことなどにより、増収となりました。利益につきましては、コスト削減などの努力の一定効果があったものの、価格競争や不採算案件の影響で減収となりました。また、TIS、ユーフィット、ソランの合併のための特別損失や資産除去債務の影響もあり、利益面では厳しい決算となりました。

インテック(連結ベース)においては、大型開発案件の減少や子会社2社(中央システム、アイ・ユー・ケイ)がITHホールディングスの直接子会社となったことなどから、売上高は、103.1億円(対前年10.3%減)となりました。

平成23年3月期(平成22年4月1日から平成23年3月31日)業績

	ITHD連結	インテック(連結)
売上高(百万円)	323,173 (3.0%)	103,177 (△10.3%)
営業利益(百万円)	12,818 (△19.9%)	4,535 (△32.2%)
経常利益(百万円)	12,625 (△19.7%)	3,973 (△34.3%)
当期純利益(百万円)	5,985 (△21.9%)	1,899 (△16.6%)

利益についても、不採算案件が発生したことなどから、前年を下回る結果となりました。

## クラウドとデータセンターで増収増益を計画

インテックは、平成23年4月に、インテックシステム研究所と日本システム技術の2子会社を、それぞれ先端技術研究所、NSG事業部として統合し、新年度をスタートさせました。また、昨年度以降開始した新サービスや新商品(表)でお客様へのニーズにお応えするとともに、インテック万葉スクエア(富山県高岡市)や北陸電力との合弁会社であるパワー・アンド・IT(富山県富山市)のデータセンターの引き合いに精力的に広げて、昨年度を底として業績回復を達成する計画です。

なお、インテック(連結ベース)の平成24年3月期につきましては、売上高106.0億円、営業利益5.2億円の増収増益を計画しています。

平成24年3月期(平成23年4月1日から平成24年3月31日)予想

	ITHD連結	インテック(連結)
売上高(百万円)	308,000 (△4.7%)	106,000 (2.7%)
営業利益(百万円)	11,000 (△14.2%)	5,200 (14.7%)
経常利益(百万円)	10,500 (△16.8%)	4,400 (10.7%)
当期純利益(百万円)	3,500 (△41.5%)	2,200 (15.9%)

表 主な新サービス一覧

分類	サービス名
データセンター	インテック万葉スクエア
	パワー・アンド・IT(北陸電力と合弁)
クラウドサービス	エンタープライズ向けクラウドサービス基盤 EINS/SPS
	System i 仮想ホスティングサービス ASクラウドサービス
	EXAGE Storage/Database
	トレーサビリティシステム i-TRe(アイトレ)
	クラウドテレフォニー Callノート/Callクレヨン
	デジタルペンASPサービス
電子帳票/ログ管理	スマートフォン遠隔制御サービス Smart-let(スマートレット)
	快速サーチャージャーGX
自治体向けシステム	快速サーチャージャーLogRevi
	CIVION-7th
グローバル対応販売管理システム	課税資料検索サービス
金融機関向けモバイルソリューション	社長の右手
	F <sup>3</sup> (エフキューブ)mobile Shield Center Service

